

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編

* 感情コントロール：あせり *

インストラクター 手引き書

この講習は、通常の交通安全講習とは異なり、受講者の皆さんが主体です。ディスカッションを行う際は、コーチングの基本を参考に、進めてください。

◎コーチングの基本

- ・ どんな意見に対しても否定はしないこと。
- ・ 自由奔放に意見ができる雰囲気をつくること。
(真面目な意見も面白い意見も大歓迎)
- ・ 人の意見と同じでもいいし、そこから発展させることも大いに結構。

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編 * 感情コントロール：あせり *

●はじめに

交通事故による死者は、歩行中が最も多く、そのうちの7割は、道路を横断するときに発生しています。ドライバー・歩行者、双方の不注意と見逃しが重なることが、主な要因となり、横断歩行者の事故は起きています。

不注意や、見逃しをしてしまうなど、危険を察知する力が欠けてしまう理由のひとつに、わたしたち人間は、体調や気分、それぞれの性格によって、異なる判断をし、ときに正しい行動ができなくなることがあります。

「横断歩行者保護 交通安全コーチング」では、自分自身を振り返り、自分はどんな感情を持ちやすいか、そしてその感情がどのような危険行動をもたらすかに気づき・知ってもらい、横断歩行者保護の啓発につながることを、目的としています。

本動画では、信号機のない交差点のドライバー視点における、「あせりの感情」をテーマとしています。

●ゴール

運転中の「あせり」をおさえて安全運転を行えるようにすることです。

●プログラム（※受講者へワークシートを配布し、プログラムに沿って進行してください）

- 1: グループ（4名～6名くらいで1グループ）を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約4分）
- 3: 感情コントロールについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約10分）
- 4: 影響度合いが低かった人の行動から、感情のコントロール方法について具体的に考えます。グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約5分）
- 5: 各グループから発表された感情のコントロール方法から、自分が行えそうな方法を選択します。参加者各自がその選択した感情コントロール方法について発表します。（約5分）

所要時間： 約20分～30分

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編 * 感情コントロール：あせり *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 1: グループ（4名～6名くらいで1グループ）を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約4分）

インストラクター：

「これからお見せするのは、駅に子どもを迎えに行くお母さんが、焦って運転しながら、信号がない交差点にさしかかる、ドライバーの動画です。そのような感情状態のときにおこる危険を考えながらご覧ください。」

★動画START（最後まで視聴します）

- 3: 感情コントロールについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約10分）

インストラクター：

「ご覧いただいた動画では、「焦りの気持ちを持ちながら運転することの危険」、を紹介しました。待ち合わせ時刻や、大事な商談の時刻が迫っていたりすると、いそぎの気持ちが強くなり、焦った状態での運転をしてしまいます。

「あなたにとって『大切な』待ち合わせ時刻が迫っているとしましょう。そのような焦り状態で運転すると、あなたの運転にどんな影響をもたらしますか？」

「焦った感情が運転に影響をもたらす度合いについて、〈図A〉の該当する箇所に「○」印を付けてください。そして、運転への影響について具体的に考え、ワークシートに記入してください。」

※参加者が戸惑うようであれば、影響について「呼び水」程度に内容を示してください

- 例) 注意力 → どのように変化しましたか？
 速度 → どう影響しましたか？
 車間距離 → どう影響しましたか？

横断歩行者保護 交通安全コーチング

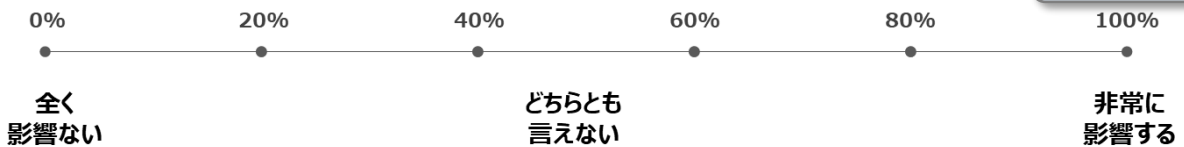
4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編 * 感情コントロール: あせり *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 3: 感情コントロールについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。

〈図A〉 「あせり」の感情が自分の運転に影響をもたらす度合いについて、「○」をつけてください。

受講者
ワークシート



「あせり」の感情がどのような影響を運転時に与えたか、具体的に記入してください。

インストラクター：

「記入を終えたら、グループごとでディスカッションしてみてください。」

「グループリーダーは、グループ内の焦りの感情が運転にもたらした影響度について、また、どのような影響があったかなど、発表をお願いします。」

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編 * 感情コントロール：あせり *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 4: 影響度合いが低かった人の行動から、感情のコントロール方法について具体的に考えます。グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。(約5分)

インストラクター：

「影響の程度を「**50点以下**」と評価された方は、**何か対処方法**をお持ちなのかもしれません。グループ内で、**運転への影響が少ない方の理由**を聞いてみてください。」

「そしてグループ内で**焦りの感情の対処方法について**みんなで話し合しましょう。グループリーダーは話し合いで出た意見の発表をお願いします。」

※発表された感情コントロールの方法について、受講者が視認できるようホワイトボードなどに書き出してください。

(例)

- ・深呼吸して、気持ちを鎮める。
- ・遅れることを連絡してから運転する。
- ・速度をいつもより落とすことを心がける。
- ・「急ぐときほどゆっくり運転」を心構えに。
- ・注意力をいつもより高めるよう意識する。
- ・遅れたら謝ればい、と焦りの感情を
- ・自分は今危険な状態にあると客観視する。おさえるようにする。
- など

どのような感情コントロールの対処方法があるか、記入してください。

受講者
ワークシート

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編 * 感情コントロール : あせり *

●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 5: 各グループから発表された感情のコントロール方法から、自分が行えそうな方法を選択します。参加者各自がその選択した感情コントロール方法について発表します。(約5分)

インストラクター :

「色々な解決法が出てきましたね。この中から、自分が実際に行うことができそうな感情コントロールの方法を記入してください。いくつでも構いません。」

「最後に、各自で発表していただいて、このプログラムは終了します。」

自分が行えそうな感情コントロールの方法を記入してください。いくつでも構いません。

受講者
ワークシート

横断歩行者保護 交通安全コーチング

4-1_無信号交差点での危険_ドライバー編 * 感情コントロール : あせり *

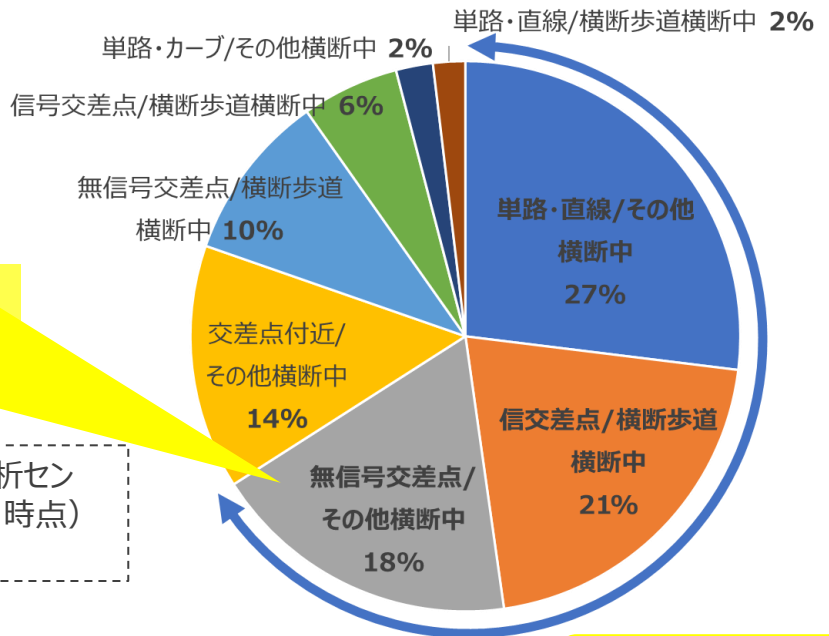
終了となります。

➤ 歩行者の死亡事故の約7割が横断中で、道路形状別にみると、以下の場所で死亡事故が多発。

- ① 単路・直線/その他横断中27%
- ② 信号交差点/横断歩道横断中21%
- ③ 無信号交差点/その他横断中18%

横断中歩行者死者数

相手四輪 2018~2020 n=2,132



無信号交差点/その他横断中18%

出典：(公財)交通事故総合分析センターの集計データ(2021年4月1日時点)を基に作成。

	① 単路・直線/その他横断中	② 信号交差点/横断歩道横断中	③ 無信号交差点/その他横断中
多い事故の形	<ul style="list-style-type: none"> ● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故 <p>四輪直進中の事故98%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 右折四輪車と歩行者の事故 <p>四輪右折中の事故48%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故 <p>四輪直進中の事故44%</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故 <p>四輪直進中の事故85%</p>